

民俗企画展

令和6年 7月13日(土)～9月8日(日)

上溝番田の神代神楽

かみ みぞ ばん だ じん だい かぐら

【開館時間】 9時30分～17時

【休館日】 7月16日(火)、8月26日(月)、9月2日(月)

【会場】 特別展示室

観覧無料

重要文化財 神代神楽龜山社中
相模原市 上溝



協力：相模原市立博物館 相模原市立博物館 相模原市立博物館

相模原市立博物館
SAGAMIHARA CITY MUSEUM



TEL.042-750-8030 FAX.042-750-8061 [博物館HP]
相模原市中央区高根3-1-15 <https://sagamiharacitymuseum.jp/>





「三番叟」(下九沢御嶽神社)
昭和58(1983)年撮影

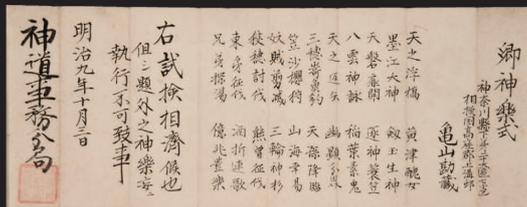
上溝番田の神代神楽

民俗企画展

神代神楽とは、面をつけて『古事記』や『日本書紀』の神話を演じる黙劇の芸能で、祭りなどで神に奉納されます。上溝番田の神代神楽は、代々亀山家が元締を務め、相模原市や座間市を中心とした地域で神楽の奉納を担ってきました。

令和4(2022)年に保存会が解散となり、書状や面、衣裳等が当館に寄贈されました。これら亀山社中の神楽道具の数々について、これまで市民ボランティア「福の会」を中心に資料整理を行ってきましたが、本展示ではその成果を初公開いたします。

実際に使用されてきた道具を通して、深遠なる神代神楽の世界の一端を感じていただければ幸いです。



「神楽免許状」明治9(1876)年(実物展示は8月4日まで)

関連イベント

① プラネタリウムで神楽「神話から見る神々の世界」

【内容】プラネタリウムで神楽をお楽しみいただけます。全周映像による演出や星空解説とのコラボレーションイベントです。

【演目】(予定)「黄泉醜女(よもつしこめ)」
「身禊祓・三貴神之現れ(みそぎはらい・さんきしんのあらわれ)」
「山神(さんじん)」

【日時】7月13日(土) ①13時~14時
②15時~16時
※途中での入退場はご遠慮ください。
※開場は各公演ともに開演の15分前

【会場】プラネタリウム

【料金】大人500円、未就学児・市内在住又は在学の小中学生無料、左記以外の小中学生200円、65歳以上250円(要証明書)、障害者手帳の交付を受けている方とその介護者・ひとり親家庭の方無料(要証明書)
※前売券はございません。開館時間から券売機又は総合受付にて販売します。

【演者】相模里神楽垣澤社中
【定員】各回当日 先着200名



② 講演会「日本の神楽と神代神楽」

【内容】約1,000年の歴史を持ち、多様な内容で現在に継承されている神楽の歴史とその意味を講じ、記紀神話をもとにした「神代神楽」の内容と特色などをお話します。

【日時】7月28日(日) 14時~16時

【会場】大会議室

【講師】小川直之氏(國學院大學名誉教授)

【定員】当日先着100名 ※希望者は直接会場へ

③ 着付け体験ワークショップ

【日時】8月13日(火)、20日(火) 13時~15時30分

【会場】特別展示室

【講師】相模里神楽垣澤社中 ※希望者は直接会場へ

④ ギャラリートーク

【日時】8月12日(月祝) 11時30分~12時
14時~14時30分
13日(火) 11時30分~12時

【会場】特別展示室

【講師】民俗担当学芸員、垣澤瑞貴氏(相模里神楽垣澤社中代表)
※希望者は直接会場へ



JR横浜線 淵野辺駅南口から
【徒歩】20分
【バス】青葉循環左廻り(淵37系統)
「市立博物館前」下車すぐ
青葉循環右廻り(淵36系統)
「市立博物館前」下車すぐ

JR横浜線 相模原駅南口・小田急線相模大野駅北口から
【バス】相模原駅南口行き⇔相模大野北口行き
(相02系統)「宇宙科学研究本部」下車8分

JR相模線 上溝駅から
【バス】淵野辺駅南口行き(淵52・淵53・淵59系統)
「弥栄」下車11分

【お車】無料駐車場95台(大型バス4台可)
国道16号「共和4丁目」交差点を西へ500m
東名高速道路「横浜町田IC」から約11km
圏央道「相模原愛川IC」から約6km



相模原市立博物館
SAGAMIHARA CITY MUSEUM

〒252-0221 神奈川県相模原市中央区高根3-1-15
TEL:042-750-8030/FAX:042-750-8061
<https://sagamiharacitymuseum.jp/>